

□特集②神戸と福祉／ルポ

# 神戸の中の福祉活動

わたしたちの住んでいる街の福

祉活動を訪ねて、いろいろな

施設、学校、制度、運

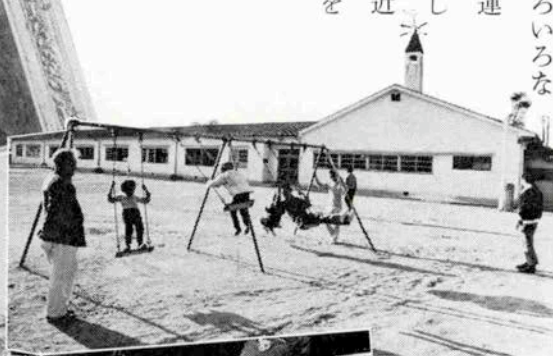
動などをみて回りました。

こんなものが身近

かにあるということを知

っていただければ、

と思います。



## ★神戸市立児童相談所

神戸市兵庫区東山町4丁目20の10の5  
TEL 511-8344 (代表)

所長 落原 孝



子供を素直に明朗なよい子に育てるため、児童の福祉に関するあらゆる相談に応じ、適切な指導、治療、措置をとっているのが児童相談所。昭和三十一年に設立され昭和四十年、現在の位置に移った。所長の落原孝さんは、「ここにいると人生の裏街道を歩いているようで……子供には責任はないんです」と語る。その子供を守るためにこの職員の人は皆謙虚で仕事に徹しておられる感じがする。児童福祉施設の第一段階で、その児童の心身上の問題によって調査、判定の結果処置を決める。養護、里親、しつけ、性向、精神薄弱、保健、肢体不自由児、視聴言語障害、教護、触法行為などに関する児童相談を受ける。

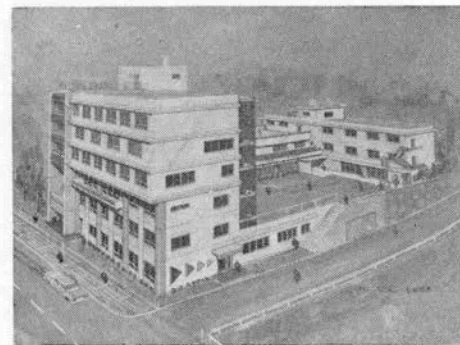
そして、ここには、事情があり家庭で養育できない児童を預かる一時保護所、幼児室、学習室が設けられてある。昼食時で幼児達は、日陽のいい部屋で保育士さん達に見守られ食事をし、二階の学習室では、小学1年から6年までの児童が一室で学習していた。二段ベットの寝室や、広い運動場、優しい保育士さんも居る。でも、子供達は心なしか淋しそうである。

## ★同朋学園

〈養護施設〉

神戸市灘区篠原北町4丁目8-1  
TEL 801-6301

施設長 江川 三郎



立派な児童福祉施設は国民の人類愛、社会連帯の責任観念の大きさを示すものだ。当学園は、四十六年に第二期工事に着工、昨年末に鉄筋コンクリート造六階建の児童福祉センターとして完成された。交通の便もよく、風光明媚な地に建てられたセンターには種々の優れた設備が整えられている。

学園の歴史は古く、戦前は同朋保育園として、さらに戦後には早くも二五年に養護施設同朋学園として再建されていた。

児童の人権を尊重することで罪悪から救い、幸福に導くという児童中心主義をとり、「人間の陽気ぐらしを根底にした宗教教育」を教育方針に、また生活態度にしている。保育所には乳児、一、二、三才児とそれぞれ教室を分けて収容。養護施設も分類収容の配慮がされている。適切な訓練機関のない精神薄弱児の為には母子通園による集団指導も考えられている。他に、民間家庭児童相談室、ボランティア育成のためのスペースも用意されている。また新しい試みとして注目すべきものに、一般家庭の子供達に集団生活の体験の場の提供、誰にでも利用できる児童文庫の「みちばた文庫」の計画がある。



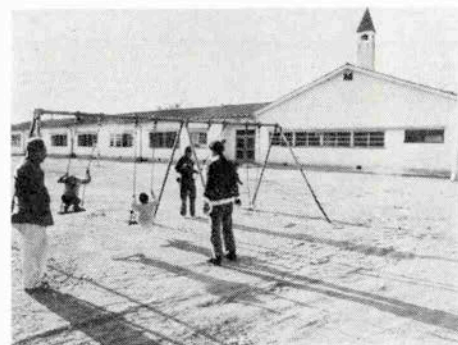
## ★神戸縦の木学園

〈精神薄弱児施設〉

神戸市垂水区神出町南619

TEL (078)965-0921

施設長 宮本 二郎



垂水区神出町の山林に囲まれた縦の木学園、ゼノ村。ゼノゼプロウスキー神父の意図を受けて、戦災孤児を収容し、戦災孤児の減少とともに精薄児、精薄者の収容所をこの地に設けた坂下茂己氏の功績は大きい。昭和四十年、入園児童7人を以って開園し、昭和四十四年、コロニー「ゼノ村」発足、昭和四十六年に、縦の木学園の施設長として宮本二郎氏が就任した。

この施設では、知恵遅れの子等が社会の厄介者、ゴクツブシと言われないよう独立自活に必要な訓練と集団指導によって平等で差別のない心の灯火をなげかけようと職員の人達も懸命で、住み込みの人が多くここだけで一つの社会を作っている。0才18才までの精神薄弱児は、重度の子供達だけは融離され、軽度の子供達はここ独自の施設内学級に小・中学校2名の教師を招きカリキュラムによって授業が行なわれている。理科、国語、社会と書かれた時間割りを見ながら、先生達は、植木鉢を焼いたり、カブト虫の養殖などが出来るようになれば……。でも、子供達は勉強を決して嫌いませんよ！と語る。重度の子供でも近づく人と人なつこく近寄つて来て話しかける。人間に対する警戒心など微些も無い。

## ★あじさい学園

〈肢体不自由児通園施設〉

神戸市長田区丸山町2丁目14

TEL 691-8470

施設長 今井 孝



静かな長田の丸山町にある「あじさい学園」の一角は「たまも園」(十八才以上の精薄授産施設)「あけぼの園」(中・高校生を対象とした精薄施設)「丸山学園」(小学生対象のちえおくれの子供達の施設)などが、清潔な雰囲気と建ち並んでいる。すべて神戸市の施設で無料ということだ。「あじさい学園」は、39年〜46年まで生田区橘通に神戸市立肢体不自由児療育センターとして歴史を重ね、46年5月に名を改めて移築された。園長の今井孝さんは小学校の校長先生だった方で円満なお人柄。入園は、児童相談所(兵庫区東山町)の診察、テストによってどの施設に入るのがいいか決まる。この園の特色は、西市民病院の栗屋先生(整形外科専門)による診療が定期的にあり(水・金は外来も可)医療としての機能訓練がなされまた訓練士四名が通園してくる母子と共に保育、機能訓練、給食指導にあたる。年令は三才から五才迄で、土曜日は、早期治療と訓練のため三才迄の子供たちが通園できる。園長は「子供たちにとって何よりも楽しい訓練の場でありたいし、室内訓練プラス屋外訓練も行つて健康児と変らない可能性を伸ばす成長を位置づけたいですね」と語る。定員四十名。

「困りごととはどうぞ、生活上のこと、法律、心の悩みごと、子供のこと、身体のこと、仕事のこと、その他なんでも気軽に相談下さい」と賀川記念館の入口の壁に貼紙がある。ここは、賀川豊彦が「死線を越えて」を書いて、日本での社会福祉運動への胎動を見せ、終ることなく続く賀川精神の実践拠点。現館長は村上盛嗣さん。内容は、保育所と隣保事業で、保育所は、一五〇名の園児達が、朝七時半～五時半（この辺りは朝早く仕事に出かける母親が多い）夜五時半～九時迄で、乳児から幼児迄のほかに、鍵っ子のための学童保育（三〇名）もある。もう一つは隣保事業で、朝九時から夜九時迄小学生から老人までの幅広い事業が行われている。例えば、中高生のクラブ活動、家庭クラブ、老人クラブ、青年クラブではお茶お華からスポーツダンスなどもあり、また、この地域の人々の相談室や、地区家庭を対象とした吾妻の会では皆が会費をだして掃除や、街灯など身の辺りのことを行ったり、また田舎からでてきた人が多い地区なので、春・秋の運動会、盆踊り、バザー、クリスマスといったお祭りを吾妻小学校で開くなど、すべてが地域に密着した人間味ゆたかなコミュニティセンターだ。

## ★賀川記念館

〈隣保館〉

神戸市葺合区吾妻通5の3

TEL 221-3627

館長 村山盛嗣



阪急芦屋川駅から西へ歩いて十五分。甲南女子高校のすぐ下にあるのが神戸で唯一一つの虚弱児施設「グイン・ホーム」。定員30人の小さな施設だが、それだけに一つにまとまった家庭的な雰囲気といった。ホームの中にはこじんまりとしたいくつもの子供の部屋に分れており、従来の大部屋的な施設にみられる、いわゆる「施設くささ」が少しもなく、部屋の中も子供の表情も、驚くほどに明るい。このホームでは種々の事情で家庭で生活できない二才から十八才までの虚弱体質の子供を一時的に家庭から離し、健康指導をすると同時に、集団生活を通して情緒面の健全な発達をはかるよう指導している。ともすれば小さな子供たちは肉親から離れたショックと環境の変化から情緒不安定に陥り、それが身体にも微妙な影響を与える。それを防ぎ、心豊かな人間に育てあげるため、集団の中での個の確立を基本方針として、一人一人に合ったきめの細かい指導がスタッフによってなされている。またこのホームでは灘生協のお母さんたちが毎日ボランティアとして子供の食事づくりをつづけているが、長期にわたる組織的なボランティアプログラムをもっているのもこのホームの特色といえよう。

## ★グイン・ホーム

〈虚弱児施設〉

神戸市東灘区本山町森字天神1

TEL 451-0146

施設長 小笠原平八郎



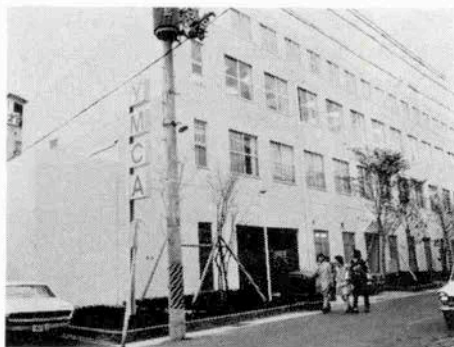


一八九九年に創立され、この一月で七四年めを迎えた神戸YMCAは昨年十月、生田神社の西から加納町二丁目に移転した。YMCAはいままでもなく青少年の健全な育成を目的として種々の事業を行っている団体であるが、これからのYMCAの役割は従来考えられていた狭い意味の教育・福祉活動にとどまるのではなく以前の福祉ニードを満たしていくと同時に、さらに都市化によって起ってくる新しい福祉ニードに対応するための先駆的役割をも果たしていかなければならない。たとえば、最近肥満児とか情緒障害児が目立つようになり、職場の中でもストレスをもつ大人が増えてきたが、YMCA新館の体育館はこうした運動不足による現代病に対処するため、ラニングトラック、室内プール、トレーニングルームなどの他に男性ラウンジ、女性サロン、サウナ、体力測定室などが設けられ、スポーツ活動のみでなく、レクリエーションの場として、また中高年層の人たちが家庭や職場でのストレスを解消するためのリラクソスの場としての役割をもっている。「新しい時代の中で都市がむしろんでいるものを先取りしてやっていくこと。一部の福祉から市民全部の福祉へ、です」と今井鎮雄さんはいう。

## ★神戸YMCA

神戸市生田区加納町2丁目  
TEL 241-7201(代)

総主事 今井鎮雄



板宿に近い養老町にある老人ホーム神戸市立「和光園」(開設大正十年・福田三男施設長)の正門のそばに大きな見返り柳がある。入園出園の際に心の慰めに、想い出になる柳。その下で日なたほっこりをするお年寄りたち。有吉佐和子の「洗惚の人」で一躍脚光あびた形だが、定員二四〇人(現在二〇一人)のうち、老人性痴呆症三一名、病弱者五〇名、健康者四七名、後精神病、精薄、肢体、聴覚、視覚障害などの老人が、養護ホームと救護ホームにわかれて、死んで野辺の送りから、お墓まで面倒を見る。(無料)「昨日も飲んだくれてトラバコ入りのおじいさんを連れに行きましたよ」。徘徊二八回という最高記録から、東は豊中、西は高砂まで引き受けに行く、職員之苦労は並大抵ではない。四分六で女性が多く、寝たきりで目が不自由だけど、気はシャンとした百才の片岡フミさんも健在だ。園内は、常勤医師、薬剤師、看護婦、嘱託医師と寮母さんが健康管理と看護にあたり、和室、特別静養室が四四室、特別浴室など設備も広い。遊び老人が多いために自分で工作する生きがいをもて裏山の果樹園づくりや、大工仕事に力を入れている。救護ホームをぜひ法的に認めてほしいという現場の声があった。

## ★和光園

〈養護老人ホーム〉

神戸市須磨区養老町1の35  
TEL 732-0093

施設長 福田三男



## ★友生養護学校

〈肢体不自由児の学校〉

神戸市東灘区住吉東町4丁目1の58

TEL 851-0630

学校長 牧 野 一 夫



肢体不自由児の養護学校。全国で二番目に設立されたという歴史のある学校で（小・中学部は昭和三二年、高等部三五年、幼稚部四二年に設立）充実した設備のもとに二百数名の生徒が通学している。

一般学習、生活指導、養護訓練の他高等部になると、工業、タイプ、珠算など選択学習も加わる。七〇名の教職員と六名の校医が指導にあたっている。

生徒達の自主活動も盛んで、児童会、生徒会の組織やクラブ活動も実施されている。文部省より特殊教育実験学校の指定を受けていて、皇太子殿下や常陸宮御夫妻もお迎えしたとか。みどり学級という在宅障害者のための家庭訪問活動もある。

肢体不自由な子供達が、それぞれの障害を克服して、生きるよろこびを味わい社会的自立、機能の向上をはかり人間的な資質を育成することを目標としている。

また、肢体不自由児の教育、福祉関係者だけでなく、一人でも多くの市民に問題を知ってもらい、解決の願いを高めるために最近「センセ、ほく歩きたい」という本を刊行した。定価500円、友生養護学校にて注文の受け付けをしている。

## ★青陽養護学校

〈精神薄弱児の学校〉

神戸市葺合区小野柄通2丁目

TEL 251-7121

学校長 山 本 晴一郎



ふつうの社会では陽のあたらない子供達のことを考え「谷間の子に光を」という声があがり、教育委員会や精神薄弱の子供をもつ親からの強い要望で設立された。

昭和三八年設立後、四七年四月には西校として舞子に東校として三宮に分離独立している。当、東校には神戸市の東部地域の生徒がスクールバス等で通学してくる。小、中、高が一貫されている。

社会生活をしていくのに役立つ様に、また勤労意欲を養う意味もあり一般学習の他に作業学習も組み入れられている。印刷、木工、タイル貼り他の生産作業学習、中学生になれば職場実習も行なわれる。二週間にわたって森林植物園やゴム工場での実習は生徒達には楽しみでもあるようだ。

現在は二五名の先生達が指導にあたっている。またカナディアンスクールの生徒や大学の実習生達の見学をかねた訪問もたびたびあるのはうれしいこと。

自立生活を可能にするように訓練を受け、豊かな情愛を育て、生徒達は果立っていく。卒業後の進路にはゴム工場、機械工場への就職が多いようだ。また職業訓練施設で訓練を続ける人、洋裁学校へ進む女性もある。



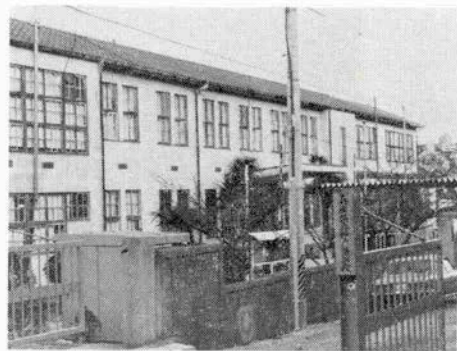
## ★兵庫県立神戸聾学校

〈耳の不自由な子どもたちの学校〉

神戸市垂水区福田1丁目

TEL 707-2603

学校長 熊谷俊作



垂水駅から北へ歩いて約二五分の所に「兵庫県立神戸聾学校」がある。耳の聞こえない子供たちの学校は全国で約一〇〇校あり、兵庫県下にはこの他に豊岡、姫路、淡路の三校がある。神戸聾学校には幼稚部、小学校、中学校、高校、専攻科があり、生徒数は全部で約三六〇名。中学部まではクラス八名、高等部ではクラス十五名で授業が行なわれている。生徒のほとんどは耳が聞こえないため、学校としては口話教育（唇の動きで言葉を読みとる）基本方針にしているが、高学年になって語彙が複雑になってくるとどうしても手話（手ぶりで意志を伝える）も必要になってくるので、実際には口話と手話を併用している。生徒は神戸市内在住者がほとんどだが、県下各地、九州、北陸方面から勉学にきている生徒もあり、通勤ができない生徒のためには寄宿舎もある。卒業後は最近では印刷関係に進む者も多く、他には鉄工場、ゴム工場、ミシン加工、菓子製造業、会社の事務員、キイパンチャーなどかなり多方面にわたっている。生徒の中には耳が聞こえないだけでなく、他の障害をも伴っている、いわゆる重複障害児も若干いるため、今後はこの方面の教育方法の研究が待たれるところである。

## ★神戸市立盲学校

〈目の不自由な子供たちの学校〉

神戸市兵庫区大開通4-1

TEL 577-1221

学校長 根岸 寛



新開地の西、大開小学校の隣に「神戸市立盲学校」がある。目の見えない子供たちの学校は全国で73校、兵庫県にはこの他に、垂水と淡路の洲本に県立の盲学校が二つあるだけ。ここは幼稚部、小学部、中学部、高等部とに分かれており、生徒数は全部で百二十一名。玄関の所に入学資格として「視力のない人、視力が〇・三未満の人、視野のせまい人、全色盲の人、夜盲の人」となっているが、現在点字の教科書を使っている生徒は35名で残り86名は普通文字の教科書を使っているそうなので弱視者が多いようである。この学校には寮がないので生徒の約半数（58名）は登校、下校にスクールバスを利用している。目が不自由なため、生徒たちは学校の理科で、アンマ、マッサージ、指圧師、ハリ師、灸師などの訓練を受け、国家試験にパスすると卒業後は外科病院や治療所へ就職していく生徒が多い。

「しかし最近では目が見えないうえに他の障害も伴っている子供たち、たとえばちえ遅れで盲人の子供たちなども増えてきたので、盲・精薄関係の教育の場や生活の場がほしいですね。それが関係者一同の願いなんです」と根岸校長先生は言葉を結んだ。

## ★兵庫県立リハビリ テーションセンター

神戸市垂水区玉津町吉田1070  
TEL 913-5601-3

所長 居村 茂 徳



玉津寮の門を入るとまっ直に続く舗道の両側にいろいろの施設がある。昭和二十一年戦災者の応急援護施設として開設されて以来多くの施設が作られ、昭和四十六年リハビリテーション部門が出来、県から経営を委託された。このセンターでは、身体障害者のうち、18才以上で早期に治療すれば全治する可能性のある肢体不自由者を収容し、その人達が自立自営出来る職業人として再び社会に復帰させることを目的としている。病院、更生訓練所、授産施設、義肢装具開発研究所など総合されている更生訓練をする体育館、機能回復訓練をするハーバートタンク、温水プール、渦流浴装置、いろいろ個人に合った仕事を学習する作業室、個別療法室、手術室、診察室、病室、食堂へ重症の人以外はすべてここで食事をする。などが、大きな建物の中に備えられている。行くとも誰も気付くだろうが、車椅子用に廊下は広く、廊下の両側にはすべててすりが付いてある。ここの施設次長大川千歳さんは、事故が起った時にすぐにここに運んでくれば本当に適切な治療が出来るのだとていつておられた。第二次工事として、職業訓練部門と授産部門の整備が予定されている。玉津寮には、この他多くの社会施設がある。

## ★不幸な子どもの 生まれない運動

神戸市生田区下山手通5丁目1  
不幸な子どもの生まれない対策室  
TEL 341-7711



昭和40年の夏、元兵庫県知事金井元彦氏が滋賀県の「びわこ学園」という重症心身障害児の施設を見学した時、こうした重症児が生まれるのを未然に防ぐためにはどうすればよいかを検討し、この結果生まれたのがこの「不幸な子どもの生まれない運動」である。昨年の夏、NHKテレビの「70年代われらの世界」で紹介されたのでご存知の方もあるだろうが、結婚、妊娠、分娩、出産後などに保健所が中心になって医学的検診を行い、心身障害児の発生をできるだけ未然に防ごうとする所にこの運動のねらいはある。

昭和45年「心身障害者対策基本法」が成立した時、その第二章の「心身障害者の発生予防」の大きな力となったのが兵庫県のこの運動でもある。

「障害児が生まれてからその保護や対策に一生懸命になるよりも、まず障害児が生まれるのを防ぐことに」と力を入れなければならぬと思います。昨年一年間に百五十件ぐらいの重症黄だんの赤ちゃんが生まれましたがその80%は救われているんです」と橋本対策室長は強調する。「治療から予防へ」というこの運動の理念は高く評価されてよい。



## ★神戸市社会福祉協議会

神戸市生田区橘通3の1

総合福祉センター内

TEL 341-2931~2

理事長 滝川 勝二



神戸駅前の湊川神社の西、神戸市立総合福祉センターの二階に「神戸市社会福祉協議会」(略して市社協という)という組織がある。社協の活動は非常に広範囲にわたっているので一口に説明することは難しいが、「地域住民自らが地域の問題を把握して解決していくためのバックアップをする組織」といえよう。たとえば47年度の重点目標としては①老人の社会活動参加、在宅老人の援護などの老人福祉対策の推進②地域社会における児童の健全育成のための子ども会活動、児童館活動の強化③地域における各種福祉活動を増進するための地域福祉活動の強化推進④民間福祉活動施設の近代化の促進、特に利用者の処遇向上と職員の処遇改善の推進⑤社会福祉、社会保障への住民参加の促進、特にひとり暮らし老人へのボランティア活動の育成、強化⑥住民の福祉ニーズを把握するための社会調査の実施、などがあげられている。具体的活動の一つとして市社協では昨年九月から、「市民みんながボランティア」をスローガンとしてボランティアによる「ひとり暮らし老人友愛訪問活動」を行っている。65才以上の一人暮らし老人を訪問して奉仕活動をする計画なので参加ご希望の方は市社協までどうぞ。

## ★神戸市心身障害者 扶養共済制度

神戸市生田区加納町6の7

神戸市役所内障害福祉課

TEL 331-8181(代)



障害児をもつ親にとって一番心配なことは、自分たちが子供の世話ができなくなった時、一体誰が子供たちの世話をしてくれるのだろうか、ということである。こういった親の不安をなくするために昭和41年から神戸市でスタートしたのが「神戸市心身障害者扶養共済制度」である。これは心身障害者の保護者が毎月掛金を払いこんでおくと、保護者に万一のこと(死亡、廃疾)があった場合、市が心身障害者に毎月二万円の年金を支給して経済的に援助しようといった制度である。

対象となる心身障害者は、精神薄弱者(I・Q75以下)身体障害者(三級まで)、自閉症、脳性まひ、筋ジストロフィーなどの人を含み、加入者は十一月現在神戸市内で一〇三〇人ほど。また保護者の死亡などにより年金を受給している心身障害者は二〇人である。なおこの制度は昭和45年2月から国の制度として全国的に実施されるようになった。

この制度に加入できる人は①住所が市内にあること②45才未満であること③生命保険契約の被保険者となれないような疾病または障害を有しないこと、となつていゝ。希望者は住所地の福祉事務所に申込みばよい。

## ★家庭養護促進協会

神戸市生田区橘通3の1

総合福祉センター 2F

TEL 341-5046

事務局長 伊藤 友宣



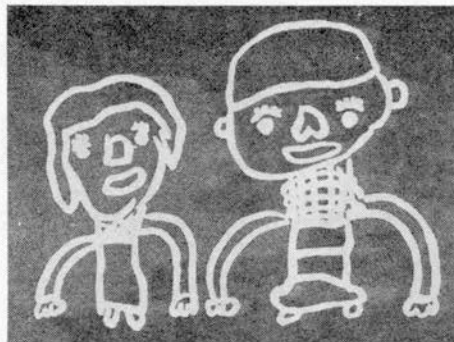
## ★誕生日ありがとう運動

神戸市葺合区御幸通8の9の1

神戸国際会館 1F

TEL 251-8161 内線258

代表 藤本 隆



昭和三十六年四月、「あなたの愛の手を」をスローガンとして神戸市で全国に先がけて発足した「家庭養護促進協会」は全国でも非常にユニークな民間の里親発見機関である。この機関は里親発見の方法として新聞やラジオなどのマス・メディアを利用しているところに特色があり、神戸市では毎週月曜日の神戸新聞の朝刊に、そして大阪では毎日新聞の大阪版に「あなたの愛の手を」という欄を設け、そこに里親や養子縁組を必要とする子供の写真と記事を掲載し、子供を引きうけてくれる家庭をさがしている。またラジオ関西でも毎週日曜日午前七時三十五分から「里親さがしの時間」と題して五分間にわたり放送し、親が育てられない子供の養育者を求めている。この「愛の手運動」がスタートして以来もう十一年にもなるが、この間に新聞に掲載された子供の数は九四三人にもなり、七五二人もの子供たちが暖かい家庭の中で育てられてきた（昭和四十七年十一月末現在）。

協会のスタッフは神戸と大阪で合わせて八人。機関紙「育てる」を年二回発行している。この地道な活動に対してこの家庭養護促進協会に昨秋、兵庫県社会賞が贈られた。

健康に恵まれた人が、自分の健康を感謝する時に、精神薄弱者の事を少しでも考えて、意識的に陰約した暖かい一〇〇円をお誕生日に献金しようという運動。

これは、市立室内小学校の特殊学級の担任をしていた藤本隆先生をはじめとする三名の教師の話し合いから生まれた。「自然発生的に共鳴したボランティア（奉仕者）の推進を受けて昭和四十年発足以来活動を続けている。

主旨としては、精神薄弱児（者）についての正しい知識を提供しようという啓蒙運動。原因の大半を遺伝によるもの、と誤解していることが、世間一般の人々を傍観者の立場にさせているのではないかと思う。だから後天的な原因によるものが九割を占めているのだという事実を知り、正しく理解する事で自分の問題として主体的に考えてもらいたい、と運動のしおりを発行したり、街頭対話をしたりの活動をしている。七年たった今日、全国に広がり活発な運動に成長したが、地元の神戸にもっと深く根ざしたい、と藤本先生はいう。

献金方法は、氏名、住所、誕生日を書き添えて郵送する（定額小為替、切手代用）か、振替口座にて。



● お酒の殿堂



アサヒビール特約代理店

酒類調味食品問屋

⑧ 神戸酒類販売株式会社

本店・生田区中山手通1丁目76

TEL (078) 321-0201 (代表)

支店・西宮・垂水・兵庫



呉服の粹

赤

坂

本店 神戸市生田区元町通六丁目  
(341) 五五一八・八六五三  
大丸前店 市電大丸電停山側(391) 三一六四





STAMMHIM ENTERPRIZE OFFICE (331)9577

明けましておめで  
とうございます。  
本年もどうぞよろ  
しくお願い致しま  
す。

ハイクラスレストラン  
**ロココクラブ**

TEL (861) 4121-2  
AM11:00-PM11:00  
(駐車場40台あり)



ピッツァハウス  
**スタンハイム**

TEL (391) 9707  
AM11:00-PM11:00



エキゾチックなレストラン  
**ダナ・ガーデン**

TEL (321) 1810  
AM11:00-PM11:00

ファミリー  
ファーマシイ



ビストロ  
**ファミリーファーマシイ**

TEL (441) 4163  
PM7:00-AM5:00





「神戸っ子シリーズ」1

1月下旬発売!

# 世界の福祉施設

—— 欧米の心身障害者を訪ねて ——

橋本 明著 <カラー8ページ、本文320ページ 定価1,000円>



西ドイツのベートルにて (左筆者)

## 主な内容

- 神戸からシアトルへ
- クライシス・クリニックス
- グッドウイル・インダストリーズ
- 里親発見活動
- フォースター・グランドペアレント
- ファースト・アベニュー・サービスセンター
- ボランティア・ビューロー
- 病院におけるボランティア活動
- レニア・スクール
- アメリカのグループホーム
- 社会福祉とPR活動
- 砂漠の中の老人の町
- ボーイズ・タウン
- パーキンス盲学校
- スポック博士の子供博物館
- アビリティーズ
- ロンドンのバーナードホーム (イギリス)
- コペンハーゲンの老人の町 (デンマーク)
- 奇蹟の町、ルルドを訪ねて (フランス)
- ベートル——西ドイツの障害者の町 (ドイツ)
- ヘット・ドルプ——未来を拓くオランダのコロニー (オランダ)

お申込みは月刊「神戸っ子」編集部まで。神戸市葺合区八幡通5丁目96 K Eビル4F TEL221 7037



# 動物園飼育日記 — 80 — 亀井一成



ないしょ話シリーズ〈1〉

ポパイという名のヒグマ







●年に一度の恋、ポバイの求愛

クマは雑食だから、蒲焼に使ったあとの、あの骨ばかりのウナギの「アラ」（たまには頭が入っている）を、およそバケツ二はい。毎日、川魚屋から買っている。これを学校給食用と同じ大釜で、ゴリラやチンパンジイの食べ残した白菜のかぶやイモのへたをバケツに三はい。それにライオンやトラの残り物の鯨肉。そして食堂で貰う残飯を入れて約三時間、とろとろと煮つめる。そこへトウモロコシの粉やふすまを入れてねばりをつけ、もちろん食塩で味つけもしてやる。これは、つまりクマ用のチャンコ鍋である。

この栄養食を巨漢二五〇キロ、ヒグマのオスは大型バケツに二はい、ものの五分で平らげてしまい、まだメス

の食卓に口を突っこむという喰いっぷり。それでいてメスに吠えつかれると、たじたじのていだ。大喰いでも女性には弱いとあって、この彼に我々はポバイという愛称をつけてやった。

ところが体長二メートル、めぐまれた体力でいて、なかなかあいくるしい顔をしている。そのユーモラスな姿に、つい油断して咬みつかれたという事故の多いのも、これらくま飼育キーパーである。

このポバイも例外なく平素は無口で無表情。まるでなにもできないあどけない顔している。ところが、ひとつくるいだしたら、とてつもない精力家である。まさに世に言う「だんまりのなんとやら……」というやつだ。

ともかく、まるでぬいぐるみの外見と、ちっほけな眼は、性質もいたっておとなしく見え、つい触れたくなってくるほど相手を油断させてしまう。

しかし、ベテラン飼育係でも、クマの気心をつかむことはことのほか難しい。手塩にかけ、ミルクで育てた子グマでさえ成獣ともなれば牙をむき襲ってくる。私自信このポバイに左手二指の自由を失う重傷を負っている。それは何も飼育者に対する反抗だとはいえない。まさに満ちあふれた性的成熟のしてきたからだがそうさせるのである。

クマは元来野生では単独生活。見つけた食物はひとりじめ、腹が破けるほど食べなくてはおさまらない喰い意地のきたなさをもっている。

動物園でも一枚のビスケットに親子夫婦がキバをむいて、腕ずくで奪いあう。その姿はどうみても野獣そのものだ。

しかし、クマの恐いことは、もうひとつ、産情期である。毎年五月〜六月になるとあれ程喰っていたポバイが、おしげもなく餌を残しはじめる。よく見ると眼さえ血ばしり、ヨダレを流す興奮ぶり、夜もろくろく眠らなくなった。そのうえメス部屋に入りこみお尻を追いつづける。突然ガブリと咬みつかれようが、あの手この手と、

メスグマにつくし続ける。それは、まさに食物もノドを通さないと、いかに恋々たるものである。

他の動物の場合、発情期は春秋二度あるものや、一年中、あるサイクルで現れ、その都度許容されるものが多い。しかし、クマはわずかに一度きり、その季節がやってくるだけなのである。

しかし、その性行動は、キリンやウシ、シカ科のように瞬時に終ってしまう、あつけないものではない。メス

の性臭に刺激を受けたオスのポパイは興奮のあまり小水を足元に流し、ぬらしはじめた。やがて、その小水を嗅いだメスはがたと立止ったまま動かなくなる。そのうえ口元で低いうなり声をだしている。つまりこれがオスへのサインだ。と、その四つんばいのメスにうしろから背に乗りかかったポパイは、あの「クマ手」で力いっぱいメスを自分の方に引きよせはじめたのである。

ともかくクマは年に一度きりの恋とあって、そのエネルギーを一気に使い果たす。一分一秒をおしむかのごとく、それは時間の単位で表わすよりも、実に、朝、昼、夕暮れと、続けられるのだ。メスの背におおいかぶさったまま、インサートのまま、メスの動くままヨロヨロと歩く。しかも、一週間から十日間、えんえんとくり返し行なうのである。そんな折、悪しくも意外とご婦人方のヒトだかりが多いのもほんとの話。ところで、このような、ヒト目をはばからないポパイのおかげで出産予定日が予想されやすく、神戸王子動物園では、毎年一月十日頃、可愛い子グマが誕生している（これまでに十三回十六頭の子グマが育った）。

しかし、このような激しい求愛のあと、そのシーズンが過ぎれば、もはや、あとの結果については知らん顔。野生ではさつさとオスメスが離れてしまう。そして冬のさなか、ほら穴の中で愛児を育てなければならぬというのがメスグマの宿命なのである。（北海道産エゾヒグマ体長二メートル体重二〇〇キロ、三〇〇キロで、雑食性で農作物や家畜を襲うこともある。四〜五歳で性的に成熟する。）

〈王子動物園学芸員／写真も〉



●メスグマの宿命—冬のさなかほら穴で愛児を育てるのです



北海道の香りで初春の味を！



神戸市生田区中山手通二丁目一五  
生田東門筋東門会館ビル一階奥  
TEL (31) 七七七〇

**北海道郷土料理**  
**蝦夷**

北海道の一品いろいろ 白鶴三〇〇円  
蝦夷鍋 (シヤケのチリ) 五〇〇円

十勝鍋 (シヤケのミツナベ) 五〇〇円  
毛がに 二千二百五十円

●北海道飛行機便の新鮮な

あけまして

おめでとうございます

本年もどうぞよろしく……



50年の老舗

お食事、御宴会

**時雨茶屋**

元町3丁目山側 TEL (31) 0070・1060

# 淀川立見席 13



## 春に舞う映画の艶姿

淀川 長治

△映画評論家▽

「モダン・タイムス」が大変な入りで東京は連日札止めの盛況で、さる十一月にチャップリンの娘さんジョセフィンに逢って、パパの話をしたのも嬉しい思い出。チャップリンはオナ・オニールと五十四才で結婚してから八人の子供をもうけ、ジェラルデン、マイケル、ジョセフィン、ウィクトリア、ユージン、ジェーン、アネット、クリストファーと、その末っ子のクリストファーもすでに十才。もつともオナがチャップリンと結婚したのが十八才ゆえの子だくさんの幸せ。それにしてもチャップリン。七十三才でクリストファーのパパになったとはたいしたエネルギー。

そのジョセフィン（二十四才）は夫のクラス・シスト

オヴァスと同伴来日。この旦那はギリシャの毛皮商の大富豪。ところが逢ってみるとまるでやさしい。ヒゲのある中学の先生そのまま。二人は二十五才（ニコラス）ジョセフィン（二十才）で結婚。すでに一つ半の坊やあり。その名は……チャリーだって。ジョセフィンとパパの映画のことを語ったら私の方がたくさん見ていて「サンニー・サイド」の一場面の面白さを私から聞きながらクツクツ笑って早く見たいわ。

「バラキ」（コサ・ノストラ）が出たあと「さらば友よ」のアラン・ドロンのほうは、ぐっと砕けた「リスボン特急」でカトリーヌ・ドヌーブと共演のこれぞ文字どおり天下の美男美女共演の大活劇。映画はのっけから雨



・ラ・マンチャの男

の海岸通りの銀行強盗。すわ一大事ここでアラン・ドロンの黒めがね登場やと思いきや、なんとドロン今度は刑事でした。しかもこの銀行ギャング、目的ここに非ず、これは目的の大犯罪決行のなんと資金かせぎ。かくてリスボン行き特急の車内にかくされた麻薬を狙いヘリコプターで空からの追跡。スルスとロープ下ろし走る列車に乗り移





・リスボン特急(上) ・讃歌

る曲芸。この汽車このヘリを映画はわざとチャチなミニチュアで見せて悪漢探偵追っかけの大活劇をいささか漫画化して見せた。ところで実はボスの情婦のドヌーブと刑事のドロンすでになみならぬ関係をはのらせて、それと知りつつボスがドロンを愛してのこの関係ややこしく、さらに艶やかな美女がなにかと麻薬ルートのやみの密告。この美女ドロンを愛して首ったけ。ところがその密告の一つが誤って刑事ドロン危くどじを踏み、彼女の顔を張り倒した。えらいことをやる男、そう思ったところなんと実はその見事美しい女、初めっから男性。オカマでした。監督がジャン・ピエール・メルベル。フィルム、ノワール(暗黒下町の映画)の一派だけにただの活劇じゃなかった。

ブロードウェイで一九六五年初演以来大当りのそして染五郎また大当りの「ラ・マンチャの男」がアーサー・ヒラー監督、ピーター・オートウールのドン・キホーテ。ソフィア・ローレンのアルドンサ。ジューズ・ココのサンチョ・パンザ……でいよいよ登場。この映画、監督も主役二人もが共に初めてのミュージカルというので少しならず身構えすぎた。えらいものであのソフィア・ローレンにしてコチコチとなった。ピーター・オートウール

・デ・ラ・マンチャわれこそはラ・マンチャの騎士と胸張り上げての熱演。そこでこの親方にしがうサンチヨの……お前はどしてあんな男にそう忠実なるや……これに答えてジューズ・ココ歌う。本当に好きだ。アイ・リアライ・ライク・ヒムこの歌が実に美しく胸せまりホロリとさせる。ミュージカルは踊りと歌の華やかさから、いよいよ「心」の世界を最もモダンな感覚のセット・デザインでかんけつに見せる方向へ進展。

さて谷崎潤一郎名作「春琴抄」が新藤兼人脚本・監督で映画化。お琴は無名新人渡辺督子。佐助は俳優座の河原崎次郎。この脚本、お琴の女中、いまは七十八才、養老院入り。この女中(乙羽信子)に作者(新藤兼人)が、ありし日のお琴と佐助のことをインタヴューの形式で話は回想となる。この映画妙な面白さ。女中がふてぶてしく威張りながらの回想を真直に聞き入る作者。この脚本、思いなしかお琴佐助と女中作者、この二つのダブル・ブレイの奉仕ムードを匂わせて、とにかく賜屋春琴がおこし一枚の丸裸になるのだからひっくりかえってビツクリの、けれども、なかなか面白く戯作ふうにな作られて妙。

は天下の大役とこれまた相手役を忘れての張り切りで、この映画、演出、主演、それぞれがコチコチのきんちょうを見せたものの、その歌そのテーマの美しさ。ドン・キホーテは夢想の実行派。ハムレットはすべてに疑い抱くノイローゼ派。ところがピーター・オートウールがどう見てもハムレット型これがこまったが御本人はドン・キホーテ

# 女体百景

《6》

H・ジュニア

え・浅野 俊一

いれろく

エレヌは、どう見ても、金髪のへ入れ<sup>いれ</sup>だ。

その時、彼女は、<sup>はな</sup>二十の大学生だった。

フランス語の講習会は、六月のバリで始まった。

彼女は、ベルギーの良家の一人娘。ミロのヴィーナスの体相で、うりざね顔、なか高の典型的なヨーロッパ美人であった。

偶然、同じグループになったHさんに、彼女は、何かと親切で、リポートまで手伝ってくれた。

Hさんも、「君が欲しい」と、フランス語で言い続けた。

その甲斐<sup>かい</sup>あって、夏休みのグループ旅行で、コートダジュールのさびれた海岸に、二人だけになった時、彼女は「私は処女だ」と、言いながら、彼の男根に、手をさしのべて来た。「私、はっきり、男の人の体のこと知らないから、教えて欲しい」とも付け加えた。

彼は、本気で、「最初は、痛みを伴うこともあり、出

血することもある。初めから、快感を覚えられるとは限らないけれど、男性のいたわりによれば、きつと、いい結果を得られるから、決して悲観しないように」と、教え、彼女の性器をまさぐった。

彼女の性器は、すぐ濡れて来た。

その夜、地中海の彼の音を聞きながら、二人は、夜の白むまで、愛撫し合った。汗と愛液とで、ピチャピチャになった。しかし、挿入はしなかった。不用意に、コンドームを買ってこなかったから。

夏が過ぎ、九月の末には、講習会は終る。

それは、二人が夫々、ベルギーと日本とへ、バリに別れを告げる日だ、

とうとう、別れの前夜、Hさんは、習い覚えたフランス語を総動員して、メイドインイングランドのコンドームを買い求め、上衣の内ポケットにしのばせて、密会を約束したホテルに急いだ。

彼女は、着替えて、ベッドで待っていた。

エレヌの分厚いものに、はさまれた彼の右脚は、今にも、とけそうに思えた。

「Hさん！ 結婚して下さい！」

「僕には、妻も子供もいる」

「あなた！ 指輪をしていないじゃない？ 私を最初から、だます気だったのね！」

「そうじゃない、エレヌ！ 日本では、結婚指輪をしない風習なんだ。わかって欲しい！」

彼女の大きな茶色い瞳は、涙で濡れていた。

金髪も、分厚い唇も、ブラウンの谷間も濡れていた。

「許してくれ、エレヌ！ 僕はもうこれ以上、君を求めない。今夜は、これでお別れしよう！ しかし、僕は、あきらめない。若し君さえ許してくれるなら、明日もう一度、このホテルを訪ねてくれ。僕は、この部屋で君を待ち続けるだろう」

翌日、バリの最後の夜！ 遂に彼女はやって来た。

彼女は、静かに脱ぎ終ると、ベッドの傍にひざまづ





き、小声でお祈りを始めた。

「何を祈ってるの？」

「今からすること、ローマ法王にお許しを乞うているの」

Hさんは、笑い出しそうになった。彼女は、出血もなく、彼自身を迎え入れた。Hさんの心配をよそに、どうしてどうして彼女は快感を覚えたようである。普段の善良な微笑は消えて、陰影のある表情に、彼女は、幾度か変化していった。

「登る！ 登る！」

と、その度に、彼女は声を発した。彼が教えた日本語

である。

翌朝、二人は寄り添って、セーヌ河畔を散策した。

彼女は、急に、教会へ懺悔に行くという。Hさんは、自分は異教徒だからと、ノートルダム寺院の礼拝堂の扉の外で待っていた。彼女が出て来たとき、

「何を懺悔したの？」

と、尋ねると、彼女は、ラテン語で、次のように、堂々と答えたものである。

「私は、妻子ある異教の男に、処女を与えてしまいました」

した。

それだけではありません。さらに、罪深いことに、彼が一番いい気持になる間に、私は六度もエクスタシーを覚えてしまいました。神様、罪深い私をお許し下さい！」

洋の東西を問わず、へ入れ六女が、かずのこ天井だと、Hさんが知ったのは、それからずっと後のことである。